

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしこく たくましく」



「元気・笑顔・成長」南小

第5号 令和5年6月8日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 173
PTA数 127

学校外での学び～6年修学旅行

■5月30日（火）～31日（水）に6年生が相良北小と合同で修学旅行に行きました。

1日目は「平和学習」です。「原爆資料館」では、展示物をしっかり見て、メモをたくさんとる姿がありました。平和公園や如己堂では、小雨が降る中でしたが、ガイドさんの話をよく聞いています。平和集会では、平和を祈り、千羽鶴を捧げてきました。

語り部さんの講話では、4歳の頃に被爆をされた溝浦勝さんから当時の体験を聞くことができました。「76年たっても鮮明に覚えている」との言葉がとても心に残りました。「長崎を最後の爆心地にするために、何ができるか考えてください」との話もありました。子供たちは溝浦さんの思いをしっかりと心で受けとめていたようです。

■2日目は、ハウステンボスで班別自主活動を行いました。事前の計画をもとに、マップを見ながら活動していました。園内のあちこちで、楽しく活動する姿が見られました。

■学校外での学習では、実際に現地で見たり聞いたりする中で、心で感じ、深く考えることにつながります。また、学校外では、話を聞く、ルールを守る、あいさつや礼儀を守るなどの行動が特に大切です。子供たちは、これらの「社会で通用する力」を高めることができたようです。バスガイドさんや溝浦さんなどからほめていただきました。出発式や解散式、平和集会などの司会や発表なども、とても立派でした。この2日間を今後の学校生活に生かし、さらに成長できるように努めていきたいと思えます。



学校外での学び～3年お茶摘み体験

■5月26日（金）に、川辺地区の川上さんの茶畑で3年生が「お茶摘み体験」を行いました。やったことがあるという子供もいれば、全く初めての子供もいます。「一芯二葉」と教えていただき、お茶の新しい葉を摘んでいきます。上手にてきはきと摘んでいました。中には腰が痛くなったという子供もいました。これも体験学習の大切なところですよ。

■その後、川上さんから話を聞いたり、とてもおいしいお茶を飲ませてもらったりしました。

質問コーナーでは、「仕事で大変なことは何ですか」「どうやっておいしいお茶にするのですか」など次々と質問が出ました。また、茶畑にある扇風機や水やりの話題も出てきます。

子供たちの関心は多方面にわたります。実際に現地で見たり聞いたり飲んだりすることで、その関心はさらに広がるのが分かります。

■この後は、学校内での学習でさらに調べたり考えたりして学びを深めていきます。お茶の健康面でのよさも取り上げ、2学期の健康教育の発表につなげていく予定です。



体験での学び～4年認知症サポーター講座

■5月26日（金）に、4年生対象に認知症サポーター講座が行われました。社会福祉協議会・地域包括支援センターから多数きていただき、実施することができました。見えづらい、聞き取りづらい、足が不自由といった生活とはどのようなものか、「特殊ゴーグル」や「イヤーマフ」、「車椅子」などの体験をとおして学ぶ学習です。

実際に体験してみて分かることや感じることも、またどうサポートしたらよいかなどを子供たちは考えたり学んだりしていました。

■4年生の総合は「福祉」をテーマに学習を進めています。みんなが幸せになるための学習ともいえます。将来にわたって健康な生活を考える学習でもあります。健康教育の取組が各学年で進んでいます。



←相良南小学校HPも
ぜひご覧ください。